

日本臨床発達心理士会 中国・四国支部会報

Japanese Association of Clinical Developmental Psychologists

第13号 (2009年7月31日発行)

発行 日本臨床発達心理士会中国・四国支部
編集 日本臨床発達心理士会中国・四国支部会報編集委員会
事務局 〒739-8524 広島県東広島市鏡山1-1-1 広島大学大学院教育学研究科幼児教育学研究室
TEL:0824-22-7111(内線5680) FAX:0824-24-5261

目次

- 1 ご挨拶
- 2 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第7回総会のご報告
- 3 日本臨床発達心理士会中国・四国支部会規程の改定について
- 4 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第17回研修会のご報告
- 5 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第18回研修会のご案内
- 6 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第19回研修会のご案内
- 7 編集後記



1 ご挨拶

日本臨床発達心理士会 中国・四国支部
支部長・幹事 猪木 省三

暑中お見舞い申し上げます。会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

2009年5月の支部総会において、引き続き支部長・幹事に選出されました、広島県の猪木省三と申します。任期は2011年度までの3年間です。

前支部長の山崎先生のおあとを受けて、2007年度から支部長・幹事を務めております。おかげさまで支部の会員数も100名を大きく超える数となりました。現在の支部の活動は、総会の開催(年1回)、研修会の開催(年3~4回)、会報の発行、ホームページによる情報の発信、などです。これらの活動については、皆様のご支援、ご協力により、安定した軌道に乗った状態となっております。

このたび支部長・幹事に再選され役割を与えていただいた以上は、支部がこれまでの活動を維持するとともに、さらに一層の発展ができるよう、また会員の皆様のご要望を少しでも実現できるよう、微力ながら役割を果たして参る所存です。

本年度第2回目の研修会を9月上旬に鳥取県で開催する予定です。鳥取県の会員の皆様のご尽力に感謝申し上げます。また本年度第3回目の研修会として日本発達心理学会企画委員会との共催で12月上旬に岡山県でシンポジウムを開催する予定です。研修会への、会員の皆様の、幅広い、多くのご参加を、何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、本年度から支部会費の徴収を各支部において行うことになりました。徴収の対象となる方、徴収の方法については、同封の資料をご覧ください。

では、これからも、会員の皆様のご支援、ご協力、ご指導、ご鞭撻を、心よりお願い申し上げます。

2 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第7回総会のご報告

2009年度中国・四国支部総会を以下の通り行いましたので、ご報告いたします。

- 1.日 時 2009年5月30日(土)13:00～14:00
- 2.場 所 広島オフィスセンター
- 3.議 題

(1) 2008年度活動報告

- 1.支部総会の開催 2008年度活動計画及び予算について審議・了承
- 2.研修会の開催
 - (1)第1回支部主催研修会2008年6月(広島オフィスセンター)
 - (2)第2回支部主催研修会2008年8月(岡山ボランティアセンター)
 - (3)第1回支部共催研修会2008年10月(徳島大学)
 - (4)第3回支部主催研修会2009年3月(山口県立大学)
- 3.会報の発行 2回発行(5月・8月)
- 4.役員会の開催 3月(山口県立大学)

(2) 2008年度会計報告

会計監査2名の監査報告とともに、下記の通り決算報告は承認されました。

2008年6月～2009年3月会計報告

科目	予算額	決算額
収入の部		
支部会費	216,000	152,000
		120,000
利子	15	1,037
臨床発達心理士会補助金		0
仮計	216,015	273,037
前年度繰越金	625,085	625,085
合計	841,100	898,122

科目	予算額	決算額
支出の部		
研修会等開催費	250,000	98,708
郵送費	25,000	24,630
事務費	3,000	14,562
事例報告会等経費	45,000	0
役員会等経費	50,000	55,600
予備費	20,000	0
仮計	393,000	193,500
次期繰越金	448,100	704,622
合計	841,100	898,122

(3) 2009年度活動案計画

- 1.総会の開催
- 2.研修会等の開催
- 3.会報の発行・ホームページによる情報の発信
- 4.事例報告会等の開催 各地域での開催の活性化
- 5.役員会の開催
- 6.その他必要な活動

(4) 2009年度予算案

下記の通りの予算案が提出され、承認されました。

科 目	予算額
収入の部	
1.支部会費	272,000
2.利子	1,037
3.臨床発達心理士会補助金	0
仮 計	273,037
前年度繰越金	625,085
合 計	898,122

科 目	予算額
支出の部	
1.研修会等開催費	250,000
2.郵送費	20,000
3.事務費	50,000
4.事例報告会等経費	45,000
5.予備費	20,000
仮 計	385,000
次期繰越金	513,122
合 計	898,122

(5) 支部規程の改定

2009年5月30日の中国・四国支部第7回総会において、「3 日本臨床発達心理士会 中国・四国支部会規程の改定について」に掲載された規程案の通り承認されました。

(6) 役員の選出 以下の通り選出，承認されました

支部長 猪木省三（広島）

幹事 猪木省三（広島）

副支部長 田中昭夫（島根），深田昭三（愛媛）

事務局長 七木田 敦（広島）

研修担当 西山 修（岡山），八島美菜子（広島）

ニュースレター担当 西山 修（岡山），八島美菜子（広島）

ホームページ担当 猪木省三（広島）

監査役 倉盛美穂子（広島），村上 涼（徳島）

県役員

鳥取県 田丸敏高 島根県 田中昭夫 岡山県 西山修

広島県 猪木省三 山口県 藤田久美 徳島県 山本真由美

愛媛県 深田昭三 香川県 西村健一 高知県 宮地暁男

(7) 支部会費の徴収 今後は年度ごとに支部にて徴収，振込用紙を送付予定

(8) その他 特にありませんでした

以上，総会出席者11名，委任状81名，計92名(支部会員総数138名)で，過半数の承認により総会は成立致しました。

3 日本臨床発達心理士会 中国・四国支部会規程の改定について

主な改定点は，第8条の会費の徴収方法について改めたこと，第9条で県役員を役員に加えたこと，第10条で県役員の任務を示したことです。それぞれ改定点には下線を引いております。改訂後の規程は以下の通りです。

日本臨床発達心理士会 中国・四国支部会 規程

第1条（名称）

本会は，日本臨床発達心理士会 中国・四国支部会と称する。

第2条（目的）

本会は，日本臨床発達心理士の相互の連携を密にし，技能の向上を図るとともに，本会の健全な発展に寄与することを目的とする。

第3条（事業）

本会は，前条の目的を達成するために次の事業を行う。

1) 支部会報の発行

2) 研修会・研究会等の開催

3) 研究大会の開催

4) ホームページの開設・運営

5) その他，前条の目的を達成するために必要と認める事業

第4条（会員）

1. 本会の会員は，正会員と準会員とする。

2. 正会員は日本臨床発達心理士とする。

3. 準会員は支部会が認めた者とする。

第5条（入会）

本会への入会は，原則として日本臨床発達心理士の資格取得時点とする。

第6条（事業等への参加）

会員は、本会が主催する事業および活動などに参加することができる。

第7条（総会）

1. 総会は、支部会正会員をもって構成し、事業・活動等の決定を行なう。
2. 総会は年1回開催し、会員の過半数（委任状を含む）の出席で成立するものとする。

第8条（会計・会計年度・会費）

1. 本会の経費は、会費等によって支弁する。
2. 本会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。
3. 会費は、年2,000円とし、年度ごとに対象者から徴収する。
4. 収支決算については、総会において報告し、承認を得るものとする。

第9条（役員・選出方法・任期）

1. 本会には、次の役員をおく。
 - 1) 支部長（1名）
 - 2) 副支部長（2名）
 - 3) 幹事（1名）
 - 4) 事務局長（1名）
 - 5) 県役員（各県から1名ずつ）
 - 6) 研修担当
 - 7) ニュースレター・ホームページ担当
2. 役員を選出は、正会員の互選とする。
3. 役員の任期は3年とし、再任を妨げない。
4. 支部長は、本会を代表し、会務を執行する。
5. 副支部長は、支部長を補佐する。支部長が不在の時には会務を代行する。
6. 幹事は、日本臨床発達心理士会幹事会に出席する。
幹事は会員の互選によって選出し、他の役員との兼務を妨げない。
7. 事務局長は、支部の会計及び事務に関わる事柄を統括する。
8. 県役員は、各県における本会の事業の遂行を分担する。なお、他の役員との兼務を妨げない。
9. 研修担当は支部主催の研修等を計画立案する。
10. ニュースレター・ホームページ担当は支部の会報・ニュース等を配布し、ホームページの作成、維持・管理に当たる。

第10条（監査）

本会には、2名の監査役をおく。監査役は本会の事業及び会計を監査する。

第11条（事務局）

本会の事務局は、事務局長の所属先におく。

第12条（規程改定）

本規程の改定は、支部会総会に出席した正会員（委任状を含む）の3分の2以上の同意を得るものとする。

附則 本規程は2003年4月19日から施行する。

改定 2006年6月10日

改定 2009年5月30日

規程はこちらからもご覧になれます (<http://www.geocities.jp/jacdpcs/kitei.htm>)

4 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第17回研修会のご報告

2009年5月30日(土)、広島オフィスセンターにて、中国・四国支部第17回研修会が開催されました。「発達障害児(者)のライフステージにおける課題と支援」と題し、西村浩二先生(広島県発達障害者支援センター長)によるご講演を賜りました。

まず、発達障害者支援センターの概要をご紹介いただき、幼児期から学齢期の保護者が抱える課題などをお示しいただきました。また、生活に必要なスキルやコミュニケーションスキル

の学習に関するお取組を映像とともにご紹介いただきました。楽しみながら達成感を得ることができる「調理」の実践では、子どもの表情が印象的でした。

次に、青年期、成人期の相談対象者の特徴や、その背景として考えられることをお話いただきました。仕事内容、コミュニケーションなど就労における様々な困難さを具体的な事例をご紹介いただきながら、丁寧にお話いただきました。また、雇用形態や賃金などの、厳しい現状もお教えいただきました。

さらに、センターでのお取組の1つとして、就労に向けた準備支援をご紹介いただきました。これは広島大学との連携によるもので、障害者にとっての就職体験の場として大学を提供するのみならず、学生にとっての発達障害の理解促進や介護等体験の質的向上などを目指した、互恵的な関係を築くという先進的なお取組でした。



ご講演後、参加者から実践的な質問が出され、活発な議論となりました。これからの課題を見抜き、新しい企画提案を出し、次々と実行される先生の姿に、大いに刺激を受けました。また我々、臨床発達心理士に、ある特定の年齢層だけに偏らず、ライフステージ全般を見据えて、必要な支援を考えていくことの大切さを御教示いただいたように思います。参加者数は27名。新たにイスを準備するほどの盛会に終わりました。臨床発達心理士会各支部主催の研修会として資格更新ポイントは1ポイント（3時間）でした。

5 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第18回研修会のご案内

中国・四国支部の活動として次のような研修会が開催されます。何かとお忙しい時期ですが、たくさんの会員の方々のご参加をお待ちしております。研修会の参加者ポイントは(1)区分1ポイント(3時間)です。

- 1.日時：2009年9月12日(土)14:00～17:00
- 2.場所：鳥取大学 鳥取キャンパス 附属生涯教育総合センター1F
〒680-8551 鳥取市湖山町南4丁目101番地
TEL 0857-31-6714 FAX: 0857-31-6714
- 3.講師：広重佳治先生(鳥取大学教授)
- 4.演題：「睡眠と発達についての科学論と文化論(仮)」

広重先生は、睡眠研究をリードされながら、睡眠を通じて広く、生活の諸問題にアプローチされています。鳥取大学大学院では、臨床発達心理士の資格認定科目もご担当です。人の眠りの不思議と可能性についての認識を深める貴重な機会となりそうです。

- 5.生涯教育総合センターへのアクセス
JR利用 鳥取駅から山陰本線
鳥取大学前駅下車 徒歩3分
バス利用 鳥取駅バスターミナル 番のりばで乗車
鳥大線「大学前」下車すぐ
湖岸線、鹿野線「鳥商前」下車 徒歩5分

タクシー利用 鳥取駅から約15分

周辺地図 <http://www.ces.tottori-u.ac.jp:80/img/map-syuuhen.gif>



6 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第 19 回研修会のご案内



12月に「日本発達心理学会企画委員会」及び「日本発達心理学会中国・四国地区懇話会」と本支部との共催で次のような研修会が開催されます。研修会の参加者ポイントは(1)区分1ポイント(3時間)です。

1.日時：2009年12月5日(土)13:30～16:30

2.場所：ノートルダム清心女子大学 900C
〒700-8516 岡山市北区伊福町2-16-9
TEL：086-252-1155(代表)

3.テーマ：「自閉症スペクトラム児・こだわりの子の成長を支える本との関わり
～今、大人達がすべきこと～」

子どもたちを取り囲む環境の一つとして、本との関わりを取り上げ、医学、保育、発達心理学、児童文学といった異なる領域から、自閉症スペクトラム児・こだわりの子の成長を支える本との関わりについて議論し、彼らの健やかな育ちについて、大人たちがどういった責任を果たしていくべきか、考えていく。

4.講師：話題提供者

大野繁(大野小児科医院・児童・知的障害
デイサービスぐるぐるめろん島)

片平朋世(さくらが丘保育園)

湯澤美紀(ノートルダム清心女子大学)

脇明子(ノートルダム清心女子大学)

指定討論者 荒木穂積(立命館大学)

5.アクセス

JR利用 岡山駅(西口)より北へ徒歩約10分

バス利用 岡電バス(万成,津高営業所方面行)

中鉄バス「済生会病院前」下車すぐ

周辺地図

http://www.ndsu.ac.jp/1000_guid/1200_map/img/map2_b.jpg



7 編集後記 ～HPをご覧ください～

中国・四国支部会報第13号いかがでしたか。今年度より支部会費を年度ごとに支部にて直接徴収することになりました。会員のみなさまには、すみやかな会費納付にご協力下さいますようお願いいたします。なお、今年度納入対象の方は以下のアドレスでご確認頂けます(<http://www.geocities.jp/jacdpcs/osirase1.htm>)。

支部ホームページ(<http://www.geocities.jp/jacdpcs/>)には、研修会などのご案内、支部会報のバックナンバー、支部規程などを掲載しております。ぜひご活用ください。

中国・四国支部では、今後も会員相互の情報交換等に役立つような紙面作りをしたいと願っております。引き続き、会員の皆様から「会員紹介」「耳より情報」など、自薦他薦を問わずご投稿を広く募っております。気軽に奮ってお寄せ下さい。

(宛先：yashima_sanyo.ac.jp:ご利用の際は、を@にかえてご入力ください)

(編集委員会)

